

---

# 目 次

序 文 -----	1
一般社団法人静岡県臨床衛生検査技師会会長 伊藤 喜章	
祝 辞 -----	2
静岡県知事 川勝 平太	
一般社団法人静岡県医師会会長 紀平 幸一	
一般社団法人日本臨床衛生検査技師会会長 宮島 喜文	
一般社団法人臨床衛生検査技師会中部圏支部長 山本 幸治	
創立65周年記念式典 -----	6
静岡県臨床衛生検査技師会のあゆみ -----	10
1. 歴代会長の紹介と挨拶 -----	10
歴代会長の紹介（初代～第15代）	
挨拶	
第10代会長 高木 義弘	
第11代会長 泉 正和	
第12代会長 横地 常広	
第13代会長 三宅 和秀	
第14代会長 山口 浩司	
2. 創立50周年以降の主な活動記録 -----	16
各部局の活動について	
組織調査部長 須田 達也	
学術部長 清水 憲雄	
渉外広報部長 大石 和伸	

---

---

平成15年4月以降の静臨技における活動・イベント  
創立60周年記念及び一般社団法人への移行式典  
中部圏医学検査学会（平成15年、21年、27年）  
静岡県医学検査学会（第1回から第7回）  
学術部門研修会等の活動記録  
精度管理調査事業  
特別寄稿 「ニューリーダー研修受講者より」

静岡県立総合病院 平松 直樹  
磐田市立総合病院 大井 直樹  
三島総合病院 大橋 勝春

3. 表 彰 .....	69
叙勲受章者	
厚生労働大臣賞受章者	
県知事表彰受章者	
医療功労賞受章者等	
日臨技関連表彰受章者	
中部圏関連表彰受章者	
静臨技関連表彰受章者	
4. 静岡県臨床衛生検査技師会資料 .....	75
歴代役員一覧	
組織図	
特集「第67回日本医学検査学会IN浜松」 .....	77
編集後記 .....	108

---



## 静岡県臨床衛生検査技師会 創立65周年記念誌刊行のご挨拶

一般社団法人静岡県臨床衛生検査技師会

会長 伊藤 喜章

この度、静岡県臨床衛生検査技師会創立65周年記念事業の一環としてこの「創立65周年記念誌」を刊行いたします。前回は50周年記念誌でしたので、15年分の技師会記憶を埋めることが出来ましたら賢明と考えております。

草創期は「志を同じくする仲間が集まり勉強会や親睦を深め合おう」の呼びかけがされ、ごく少人数の何も無い出発であったと伺っています。この当時の若い技術者たちの熱いエネルギーと多大な苦勞によって、着実に技術者会設立に向けた動きとなっていき、昭和27年10月に50余名によって「静岡県衛生検査技術者会」が誕生し、以来65年の歳月が経過しました。

会の発足時は、事務所も初代会長の野口政輝先生（静岡県衛生研究所長）の研究所内に設置させていただき、活動を開始されたと伺っております。それ以後、歴代会長はじめ役員の方々の努力、会員諸氏の温かいご支援並びに関係諸団体各位の多大なご指導ご協力により大きく発展し念願の事務所を設けることが叶いました。

今日の記念日を迎える事が出来たのは、多くの関係者の皆様のご尽力の賜物であり、心から感謝申し上げる次第です。この65年の間には先輩たちの時代には想像のできなかったほど臨床検査界は進歩し、新しい分析理論に基づいた技術が開発され検査試薬や分析装置を飛躍的に進歩させ、人類の疾患発見や疾病予防に多大な貢献がなされています。そして時代は遺伝子であり、医療のAIと次のステージに突入しています。

平成4年3月には先輩たちのご努力により念願の社団法人としての認可を受け、平成12年5月には事務所を現在の静岡市稲川に移し、平成25年6月には現在の「一般社団法人静岡県臨床衛生検査技師会」が発足しさらに会の機能を充実し、法人として県民の健康と福祉の貢献を目指し努力を続けています。

技師会活動近況としては、数年前から静岡県医学検査学会（県学会）を復活させ、各種の研修会・勉強会の開催、かつ各支部における健康展の実施、そして日本医学検査学会の静岡県開催が37年ぶりに実現と、慌ただしい数年を過ごしてきました。そして忘れてはいけないのは精度管理事業であり、県の医師会と静岡県とのコラボレーションとして第33回を数えるに到り、県内の臨床検査精度に大きく貢献して参りました。そのような中、事務局長等の理事職を10年経験した自分が縁あって現第15代会長を任され、このような記念誌のご挨拶をさせて頂き、身に余る思いでございます。

最後に、本書の編集にご尽力を賜りました諸先輩をはじめ多くの方々に心より感謝を申し上げますとともに、この記念誌がこれからの「一般社団法人静岡県臨床衛生検査技師会」への道しるべとして永く活用されることを祈念し、刊行の喜びの言葉とさせていただきます。



## 一般社団法人静岡県臨床衛生検査技師会 創立65周年記念誌祝辞

静岡県知事

川 勝 平 太

一般社団法人静岡県臨床衛生検査技師会が、創立65周年を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。

貴会におかれましては、昭和27年の創立以来、平成4年の法人化、平成25年の一般社団法人化と組織体制の基盤強化を図りながら、一貫して、臨床検査及び衛生検査に関する知識の普及や技術の向上などに努められ、公衆衛生の向上と県民の健康保持増進に寄与してこられました。創立に関わられた方、歴代の会長、役員、並びに会員の皆様の長年の御尽力とたゆまぬ御努力に対し、深く敬意を表します。

臨床検査は、適切な診断・治療を行うために必要な客観的データを、正確かつ迅速に、医療現場に提供することが目的であり、まさに医療の根幹をなすものであります。近年、医療の高度化・専門化やチーム医療の普及に伴い、臨床検査技師の担う業務が拡大するとともに、検査内容も高度化・複雑化しております。また、検査データの二次利用や、検査手法の国際規格への対応も求められており、医療現場を支える、高度な専門性を有する臨床検査技師の重要性は、ますます高まっております。

このように臨床検査を取り巻く環境が変化する中、貴会におかれましては、県内の各検査施設の検査水準の向上や精度の標準化を図るため、日々臨床検査の精度管理に取り組まれております。本県医療の質の向上に多大な貢献を頂いておりますことに、改めて厚くお礼申し上げます。

本県は、「富国有徳の『美しい“ふじのくに”』づくり」を県政の基本理念として掲げ、誰もが努力をすれば人生の夢を実現し、幸せを実感できる「ドリームズ カム トゥルー イン ジャパン Dreams come true in Japan」の拠点を目指して魅力ある地域づくりに取り組んでおります。「県民幸福度」の最大化に向け、「生まれてよし 老いてよし」、「生んでよし 育ててよし」の日本の理想郷を築くべく、県民総ぐるみの健康づくりや、科学的知見に基づく健康施策を展開し、健康寿命の更なる延伸を図ってまいります。

県民の幸福を増進するためには、誰もが生涯を通じて安心して暮らせる医療・福祉の充実を図り、一人ひとりのライフステージに応じて、健やかに自分らしく暮らせる社会を構築することが必要です。精度の高い臨床検査は、県民が望む安心・安全な医療の前提となるものでありますことから、貴会におかれましては、今後とも検査技術向上の研鑽に努められ、県民の健康寿命の延伸に向けて、より一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、一般社団法人静岡県臨床衛生検査技師会のますますの御発展と会員の皆様の御活躍を心から祈念して、お祝いの言葉といたします。



## 静岡県臨床衛生検査技師会 創立65周年に寄せて

一般社団法人静岡県医師会  
会長 紀平 幸一

静岡県臨床衛生検査技師会が創立されてから、本年で65周年を迎えられましたことに、静岡県医師会を代表して心よりお慶び申し上げます。

静岡県臨床衛生検査技師会は、臨床検査技師および衛生検査技師の技術・学術の向上を図り、その職能を通じて静岡県民の健康増進及び公衆衛生の向上に寄与する活動を推進し、65年間にわたるその実績は高く評価されているところです。伊藤会長をはじめ、これまでの役員及び会員の皆さまのご尽力に深甚なる敬意を表するものであります。

また、本年で35回目となる静岡県臨床検査精度管理調査においては、静岡県における臨床検査の施設間較差の是正等、精度向上のためにご尽力をいただいておりますことに、この場をお借りして厚くお礼を申し上げます。

医師が日常診療を行う上で、臨床検査の情報なしに、患者さんの状態の把握や治療効果の判定を行うことは不可能です。近年の医学・医療の目覚ましい発展に伴い、臨床検査の重要性は益々高まって参ります。精度の高い検査結果は、正確な診断の根拠となり、臨床医は自信をもって患者さんと向き合うことができます。国民の健康を守り、また医療に対する信頼を維持していくためにも、今後ますます検査技術と知識の習得に努められ、より良質な医療の向上に寄与されますようご期待申し上げます。

我が国は、既に、世界に類を見ない超高齢社会を迎えています。2025年問題への対応により、地域の医療提供体制が大きく変化することが予想され、日常業務で信頼できる質の高い医療・介護を提供するには、医療チームの一員として多職種が連携することが必須となります。

静岡県医師会といたしましても、現在、本会の最重点事業として実施している、本県の在宅医療体制の充実に向けた取り組みの中で、臨床検査技師ならびに衛生検査技師の皆様におかれましても、積極的なチーム医療への参画を期待しております。また、現在各地域において構築が進む、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムにつきましても、データヘルス事業における県民の疾病予防、健康維持増進といった観点から、貴会及び会員皆様のなお一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

医療の世界は日進月歩であります。皆様方におかれましては、日々学術・技術の研鑽努力を重ねられ、地域医療への貢献を通じて、静岡県臨床衛生検査技師会がますます発展されますことを心より祈念申し上げ、創立65周年記念誌発刊にあたっての祝辞とさせていただきます。



## 創立65周年記念誌発刊に寄せて

一般社団法人日本臨床衛生検査技師会  
代表理事会長 宮島 喜文

この度、貴会が創立65周年を迎えられましたことに、心からお祝い申し上げます。

昭和期から今日に至る長き道程の中で、法人団体としての組織運営基盤を整備し、社会的に認知度を広め、臨床検査技師の制度・身分の確保及び学術の振興・技術の研鑽にご尽力いただいた先輩諸氏の皆様のご労苦に敬意を表します。

また、貴会は静岡県における臨床検査技師の唯一の学術・職能団体として、1,700名を越す会員を擁し、各種の学術研修会を始め、支部医学検査学会や平成30年には第67回日本医学検査学会を担当されるなど、日頃から会員の資質向上に努めて来られました。さらに、行政機関や医療団体等と緊密な連携の下に精度管理調査事業や「がん予防フォーラム」並びに「健康と検査展」など公益事業に積極的に取り組み、多くの実績と成果を挙げられました。このように日本臨床衛生検査技師会の各種事業と常に緊密な連携を図り、積極的に技師会活動を展開する中で、多くの優秀な人材を輩出し、当会の役員として重責を担って頂いております。

さて、我が国の急速に進む超少子・高齢化時代において、医療・介護の重要性は益々高く、国はその需要を担うためにチーム医療を推進する方向が示されています。

平成17年には臨床検査技師等に関する法律（以下、臨技法と略す）が改正され、臨床検査技師の業務も「医師の指導監督の下」から「医師の具体的な指示の下」となりました。業務遂行においての自立性が確保された一方、責任も重くなっています。さらに、平成26年には臨床検査技師等に関する法律が一部改正され、新たに検体採取業務が追加されました。このことにより、病院など診療機関においては、検査説明から検体採取、検査の実施、報告書の作成、検査結果の報告まで一貫した検査業務が臨床検査技師の職務となっています。

そして勤務場所も検査室だけでなく、病棟や外来、さらには在宅など診療現場での活動が臨床検査の品質向上とチーム医療推進の観点から求められており、貴会における会員の皆様への一層の普及啓発や技術支援に期待しております。

更に、ゲノム医療が進む中、臨床検査分野においては遺伝子パネル検査の重要性が高まっています。そのような中、平成29年6月には医療機関・検査機関における検体検査の精度管理基準が医療法や臨床検査技師等に関する法律改正が行われ、診療施設における検体検査の位置づけを明確に規定することが出来ました。

日本臨床衛生検査技師会においては、更に教育研修を充実し、広く社会で認められ活躍できる臨床検査技師の輩出に努めるとともに、臨床検査の普及や臨床検査技師の身分・待遇の向上を目指す法制度・政策実現に向けて取り組んで参ります。今後とも貴会をはじめとして7万人会員を目指し、都道府県臨床検査技師会と共に事業を展開して参りますので、一層のご支援ご指導の程、よろしくお願い申し上げます。

貴会がさらに地域社会に貢献され、医療団体として益々発展されますと共に、会員の皆様のさらなるご活躍を祈念いたします。



## 一般社団法人静岡県臨床検査技師会 創立65周年記念にあたって

一般社団法人日本臨床衛生検査技師会  
中部圏支部長 山本幸治

静岡県臨床衛生検査技師会が、創立65周年を迎えられたことを心よりお祝い申し上げます。昭和60年には社団法人静岡県臨床検査技師会として法人化され、今日まで65年の歴史を築き上げられてこられたことをお喜び申し上げます。発足当時は数百人であった会員が、今や1,700名を超える数となり中部圏支部では愛知県に次ぎ大所帯の組織となりました。この間、永きにわたり臨床検査業務に取り組み、県民の健康の維持・増進に貢献されましたことを、心から感謝申し上げます。その功績には、これまで静岡県臨床衛生検査技師会を支えてこられました現伊藤会長をはじめ歴代の会長と会員の皆様、そして関係者皆様の並々ならぬご尽力の賜物と深く敬意を表すものであります。

近年、医療を取り巻く環境は、超少子超高齢社会問題で、大きな影響を与えております。そこで、平成24年度に日臨技宮島会長（現参議院議員）が就任以来、「日臨技を新生させ、臨床検査技師の未来を拓く」をスローガンに法制度の改正や各種事業が取り込まれました。チーム医療への参画、検査説明・相談、検体採取、病棟業務、認知症、在宅医療への参画が望まれております。今後は、先進的な業務進出を行うことが、いま以上に社会で認知され貢献できると思います。各県とも試行錯誤して取り組んでおりますが、なかでも静岡県は積極的に病棟業務などに進出され模範となっております。

昨年は、『医療法等の一部を改正する法律』が改定され、医療機関、登録衛生検査所等で実施される、検体検査の精度の確保の基盤が構築されました。検体検査の精度の確保に関する事項で、病院、診療所又は助産所の管理者は、当該病院等において、臨床検査技師等に関する法律で、検体検査の業務を行う施設の構造設備、管理組織、精度の確保の方法やその他の事項を、検体検査業務の適正な実施に必要なものとして厚生労働省令で定める基準に適合させなければいけません。中部圏支部としましてもその内容を速やかに把握し実施する体制の構築が必要であり、会員一同が理解し行動することが必要であります。

我々の団体は、学術団体でもあり職能団体でもあります。貴会におかれましては、この両方での活躍と実績には素晴らしいものがあります。学術に関しては、2018年5月12日、13日に開催されました、第67回日本医学検査学会の開催で、会員が4,000名以上参加され大盛會裏に終了され学術的貢献は多大なる実績となりました。また、2015年度には、第54回中部圏支部医学検査学会、さらに、毎年県学会も開催され学生教育、会員の研究の発表の場、学術向上など沢山の企画と実績を残されております。また、職能に関して、2013年度に健康展（検査のみみつ展）を開催され、学生、一般市民にむけて臨床検査を知っていただく内容で大盛會裏に終了されて、全国的にも大変注目された内容でありました。これは、のちに日臨技開催の『検査と健康展』の先駆けであり貢献度は偉大なるものであります。そのほか県内の東部・中部・西部地区でも健康展が開催されており、県内医療機器販売会社と地域社会が活動をするメディメッセの医療展（参加者7,000名）にも参画して社会への貢献度は多大なるものであります。

2019年には、平成が終わり新たな時代が始まります。2025年問題、さらに第4次産業革命として2030年代以降の『人工知能・ロボット』の進化、産業への進出は脅威であり、臨床検査業界にも革命がおこると思われまふ。我々、臨床検査技師もどう対応してその時代を生き抜くかの戦略を考えなければなりません。まずはゲノム医療の実施、さらには病棟業務、在宅医療への参画と思われまふ。静岡県臨床衛生検査技師会様としましても今まで以上に先進的な戦略などを全国に発信していただくことを切望し、さらに、学術・職能などで社会的貢献をお願い申し上げます。今後も、静岡県臨床衛生検査技師会のご活動が臨床検査技術に対して一層の発展に貢献され、質の高い医療提供体制に繋がるようにご期待するところでありまふ。

最後に、静岡県臨床衛生検査技師会様が今後益々のご発展と会員の皆様方のご健勝を心からご祈念申し上げます。お祝いの言葉とさせていただきます。



# 一般社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会 創立65周年記念式典・祝賀会 式次第



日時：平成30年6月2日 会場：中島屋グランドホテル（静岡市）

## 記念式典

(敬称略)

開会の辞	一般社団法人静岡県臨床衛生検査技師会	副会長	清水 憲 雄
会長式辞	一般社団法人静岡県臨床衛生検査技師会	会長	山口 浩 司
来賓祝辞	静岡県健康福祉部	部長	池田 和 久
	一般社団法人静岡県医師会	会長	篠原 彰
	一般社団法人日本臨床衛生検査技師会	副会長	横地 常 広
来賓紹介	一般社団法人日本衛生検査所協会	常務理事・中部支部支部長	横山 強
	公益社団法人愛知県臨床検査技師会	会長	梶山 広 美
	一般社団法人岐阜県臨床検査技師会	会長	兼子 徹
	一般社団法人三重県臨床検査技師会	副会長	森本 誠
	一般社団法人石川県臨床衛生検査技師会	会長	田中 佳
	一般社団法人富山県臨床検査技師会	会長	南部 重 一
	一般社団法人静岡県臨床衛生検査技師会	名誉会員	泉 正 和
表 彰	静岡県	県知事表彰	豊田 次 郎
	一般社団法人静岡県臨床衛生検査技師会	名誉会員表彰	泉 正 和
	一般社団法人静岡県臨床衛生検査技師会	会長賞	三宅 和 秀
			藺田 明 広
			市川 千津子
	一般社団法人静岡県臨床衛生検査技師会	功労賞	杉澤 きよ美
			栗田 昭
	一般社団法人静岡県臨床衛生検査技師会	特別賞	山口 浩 司
	一般社団法人静岡県臨床衛生検査技師会	賛助会員感謝状贈呈	協和医科器械株式会社
			アルフレッサ株式会社
祝電披露	一般社団法人静岡県臨床衛生検査技師会	常務理事	都 築 農夫志
閉会の辞	一般社団法人静岡県臨床衛生検査技師会	理事	山田 哲 司

## 記念講演

『多様なニーズに対応できる臨床検査技師のあり方』

講師 一般社団法人日本臨床衛生検査技師会 副会長 横地 常 広

## 祝賀会

(敬称略)

開会の辞	一般社団法人静岡県臨床衛生検査技師会 副会長	菌田 明 広
会長挨拶	一般社団法人静岡県臨床衛生検査技師会 会 長	山口 浩 司
来賓祝辞	一般社団法人日本衛生検査所協会 常務理事・中部支部支部長	横山 強
	協和医科器械株式会社 社 長	柴田 英 治
	アルフレッサ株式会社 メディカル営業本部試薬機器神奈川・東海営業部部长	桐山 敏 郎
乾 杯	公益社団法人愛知県臨床検査技師会 会 長	梶山 広 美
賛助会員紹介	一般社団法人静岡県臨床衛生検査技師会 事務局長	伊藤 喜 章
祝 宴		
閉会の辞	一般社団法人静岡県臨床衛生検査技師会 副会長	杉 澤 きよ美

## 一般社団法人静岡県臨床衛生検査技師会賛助会員感謝状受賞会社

(順不同)

協和医科器械株式会社	アルフレッサ株式会社
アボットジャパン株式会社	積水メディカル株式会社
中北薬品株式会社	シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社
富士フィルム和光純薬工業株式会社	アークレイマーケティング株式会社
株式会社アイディエス	ロシュ・ダイアグノスティクス株式会社
シスメックス株式会社	オーソ・クリニカル・ダイアグノスティクス株式会社
株式会社シノテスト	バイオ・ラッドラボラトリーズ株式会社
日本電子株式会社	株式会社日立ハイテクノロジーズ
富士レビオ株式会社	ベックマンコールター株式会社
日本光電南関東株式会社	アーリア・メディカル株式会社
株式会社イムコア	栄研化学株式会社
株式会社エスアールエル	株式会社カイノス
デンカ生研株式会社	日水製薬株式会社
ニットボーメディカル株式会社	株式会社LSIメディエンス

以上 記念式典・祝賀会に参加いただいた賛助会員

アルフレッサファーマ株式会社	キヤノンメディカルシステムズ株式会社
極東製薬工業株式会社	株式会社ファルコバイオシステムズ
株式会社八神製作所	以上 記念式典に参加いただいた賛助会員

株式会社医学生物学研究所	株式会社エイアンドティー
関東化学株式会社	協和メディックス株式会社
小林クリエイト株式会社	株式会社三和化学研究所
株式会社スズケン	チェスト株式会社
株式会社テクノメディカ	テルモ株式会社
東ソー株式会社	東洋紡株式会社
株式会社ビー・エム・エル	株式会社日立製作所ヘルスケア
フクダ電子神奈川販売株式会社	松浪硝子工業株式会社
株式会社ミズホメディ	ラジオメーター株式会社

## 一般社団法人静岡県臨床衛生検査技師会 創立65周年記念式典の様子



会長式辞

### 来賓のご挨拶



池田様



篠原様



横地様

### 表彰



県知事表彰 豊田様



会長賞 三宅様、園田様、市川様

表彰



功労賞 杉澤様



感謝状贈呈



日臨技横地副会長による記念講演

